

農芸化学サイエンスカフェ in 仙台

東北大学農学カルチャー講座(第 63 回)

日時： 令和 2 年 12 月 5 日(土)14 時～16 時

テーマ： 薬に頼る前にできる疾病予防

— ビタミン・ミネラル・ポリフェノールの有効利用 —

講師： 駒井三千夫（東北大学名誉教授、(株)東北アグリサイエンスイノベーション代表取締役）



山下まり（日本学術会議農芸化学分科会委員、東北大学大学院農学研究科教授）から開会挨拶があります。

場所： Zoom によるオンライン開催

農芸化学サイエンスカフェ in 仙台のための Zoom ミーティングルームの設定は以下です。

<https://zoom.us/j/97434995661?pwd=RUJSK2JCbkNuQmlWeE1SVy95SkItZz09>

ミーティング ID: 974 3499 5661

パスコード: 372707

13 時 30 分頃から Zoom ミーティングルームを開場しますので、ご自由にお入り下さい。

コーディネーター： 藤井智幸（東北大学大学院農学研究科教授）

主催： 公益社団法人日本農芸化学会

共催： 日本学術会議

国立大学法人東北大学大学院農学研究科

公益財団法人翠生農学振興会

内容： 高齢社会となり、国の医療費の負担が増え薬に頼らない方法、すなわち「病気になるような食生活」を普及させることが国の方針となりました。このような新しい状況となり、2015 年施行の機能性表示食品制度に基づいたサプリメントの市場が拡大しています。その有効成分としては、腸内細菌叢を健常化させるビフィズス菌類や食物繊維、抗酸化能を有するポリフェノール類、GABA、DHA、EPA、等の機能性物質があります。

しかし日本の上記制度は、米国の Dietary Supplement 制度に倣った制度にも拘らず、米国では含まれている健康機能性を有するビタミン類・ミネラル類が除かれている点は制度上の問題であり、改善されるべきと考えられます。一つの改善策として、新指定医薬部外品の一部を改定して、体力の回復、疲労回復、等々が記載できるようにすることで、ビタミン・ミネラル類の利用が可能となると思われます。

本日は演者が専門とするビタミン類とミネラル類を中心に健康機能性について紹介し、現在取り組んでいるポリフェノールを含むビタミンのサプリメント化の事例を紹介いたします。これらの成分は、マイルドな健康機能ゆえの安全性があるため、これからの利用を推奨いたします。

参加費： 無料

定員： 100 名 (Web 会議定員) 参加申し込み不要・先着順

問い合わせ先： 藤井智幸（東北大学大学院農学研究科教授）

E-mail: atom@tohoku.ac.jp